

陸軍當局者談第二號

陸軍省新聞班
一月十一日

熱河問題に關する陸軍當局者談

熱河省は苗東北四省の一つで他の三省とは不可分の關係にある又滿洲國獨立宣言の際にも熱河は滿洲國の一部なりとして明瞭に宣布し、リットン調査委員の質問に対し滿洲國當局はその國境は萬里の長城である旨を明にした。尚同省主席湯玉麟は滿洲國獨立宣言に署名し執政

144

溥儀氏に対し臣禮を執つた之によつて見るも熱河省は滿洲國の一部たる事は巖然たる事實である。従つて省内に於て治安を紊すものは滿洲國の不逞分子であり他より省内に侵入するものは侵略者である。之等に対して自衛的手段若くは討伐手段を講じたとしてもそれは恰も馬占山を追ひ詰める蘇炳文を驅逐し李杜丁超を撃攘

したと同しく滿洲国内部に起る多くの
出来事の内の一に過ぎない世間の大騒ぎ
に値する程の問題もなく又他から彼
是れ文命を并へり来る筋合のものでもない
日本国民は熱河省の地位をはつきりと
認識して同省の事情を觀察する必要が
ある。